

豊岡地区コミュニティ設立準備会



地区の概況

人口	9,293 人	小学校	豊岡小学校（児童数 387 人）
世帯数	4,084 世帯	中学校	豊岡南中学校（生徒数 588 人） （豊岡北中学校区も含む）
高齢化率	35.6%	幼稚園	豊岡めぐみ幼稚園（園児数 27 人） 豊岡ひかり幼稚園（園児数 40 人）
集落数	31	保育園	豊陵保育園（園児数 137 人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 中嶋 洋二郎

会の構成 区長会、公民館、小学校 PTA、社会福祉協議会、民生委員児童委員、有識者（計 21 名）

これまでの経過

*平成 27 年 10 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	9月 第1回検討会	「新しいコミュニティ」づくりについて
	第2回検討会	検討会委員の検討
	10月 第3回検討会	検討会委員の検討
	第4回検討会	設立準備会役員の検討
H 28	11月 島根大学・作野先生との懇談会	「新しいコミュニティ」づくりの必要性とポイント
	第1回設立準備会	設立準備会役員の承認、規約の承認
	12月 第2回設立準備会	正式組織の姿の検討、設立総会に向けてのスケジュールの検討
	1月 第3回設立準備会	地区カルテ・H28年度公民館事業計画により現状を確認、設立準備会組織の検討
	2月 第4回設立準備会	組織、部会内容の検討
	3月 第5回設立準備会	組織、部会、今後のスケジュールの検討、ワークショップ

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①豊岡盆おどり大会 ②公民館まつり ③柳まつり・豊岡おどり・おはやし ④交通安全 だんじりパレード ⑤(仮)豊かな川づくりの会 ⑥312号線・ロータリー・新川・大磯運河等の清掃等 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防団・自警団による活動 ②防犯ボランティア ③夏休み防犯パトロール ④豊岡防犯協会による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①民生委員・福祉委員による活動 ②地区保健福祉委員による活動 ③敬老会 ④サロン活動 ⑤支え合いマップづくり ⑥住民座談会 ⑦福祉懇談会 ⑧地域探検隊（いいところ再発見） ⑨玄さん元気体操 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①見て歩き ②新春かるた大会 ③ソフトバレーボール大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤卓球大会 ⑥公民館学び舎講座・教室、チャレンジキッズ ⑦幼児親子活動事業 ⑧乳幼児親子交流事業 ⑨あいさつ運動 ⑩夏のラジオ体操統一実施 「ヤッホーの日（8月4日）」 ⑪学校図書ボランティア ⑫高齢者教室等公民館各種教室

コミュニティの取組み



豊岡地区は31区と市内で最も多い行政区で構成されています。市街地で人口は多いものの、高齢化率は高く、人と人とのつながりが希薄化しつつあります。

しかし、大型商業施設が立地しているほか、診療所等も複数あることから、新しい地域コミュニティの必要性について理解が進みづらい現状があります。

そこで、新しい地域コミュニティがなぜ必要かということを一丁に説明することから始めています。平成27年11月には作野先生との懇

談会を実施し、まずは区長をはじめとする委員の間でコミュニティに対する理解を深めました。

その後の設立準備会では、規約や組織体制、構成部会などの検討を進めてきました。

今後は具体的な取組み内容の検討に移っていきませんが、意見が言いやすいワークショップの手法を取り入れていきたいと考えています。また、メンバーももう少し拡大して、様々な人との話し合いの場を設けていきたいです。

豊岡盆おどり大会や、豊かな川づくりの会など、歴史を知らない人は手間なのでやめようとしたがりますが、豊岡盆おどり大会は唯一、全区で一丸となって取り組むイベントです。豊かな川づくりの会もこれまで続けてこられた方たちはこれからも続けたいという意向なので、コミュニティの環境部門に盛り込む方向で検討を進めています。とにかく人口が多い地区ですが、住民から支えてもらえるようなコミュニティを目指して、まずは隣接する区同士で協力し合うことから始めたいと考えています。



中嶋洋二郎さん
(同準備会 会長)